

(19) 日本国特許庁 (JP)

(12) 公 開 特 許 公 報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開2010-8595

(P2010-8595A)

(43) 公開日 平成22年1月14日 (2010.1.14)

(51) Int. Cl.		F I			テーマコード (参考)	
G 0 9 F	1/08	(2006.01)	G 0 9 F	1/08	B	3 E 0 6 0
B 6 5 D	5/52	(2006.01)	B 6 5 D	5/52	F	
G 0 9 F	5/00	(2006.01)	G 0 9 F	5/00	A	

審査請求 未請求 請求項の数 10 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号	特願2008-166374 (P2008-166374)	(71) 出願人	306014736
(22) 出願日	平成20年6月25日 (2008. 6. 25)		第一三共ヘルスケア株式会社
			東京都中央区日本橋小網町 1 番 8 号
		(74) 代理人	110000084
			特許業務法人アルガ特許事務所
		(74) 代理人	100068700
			弁理士 有賀 三幸
		(74) 代理人	100077562
			弁理士 高野 登志雄
		(74) 代理人	100096736
			弁理士 中嶋 俊夫
		(74) 代理人	100117156
			弁理士 村田 正樹
		(74) 代理人	100111028
			弁理士 山本 博人

最終頁に続く

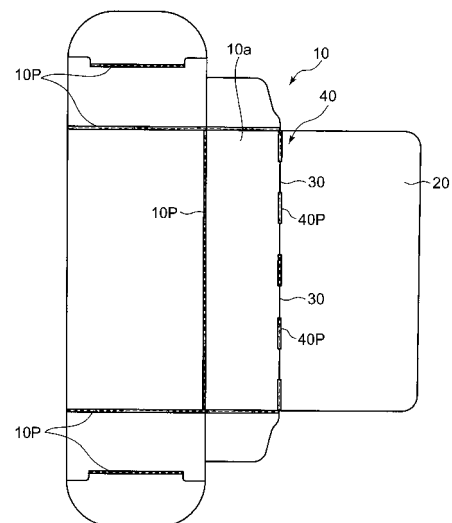
(54) 【発明の名称】 販売促進用陳列広告媒体

(57) 【要約】

【課題】 広告等表示用フラップ部に折りぐせがついても、当該フラップ部面と当該フラップ部が連成されている空容器面とを同一水平面状態で保持固定し得る販売促進用陳列広告媒体の提供。

【解決手段】 空容器体に、広告等表示用フラップ部が当該空容器体から折曲自在に連成されていると共に、当該広告等表示用フラップ部の折曲部の一部に切れ目が形設されている販売促進用陳列広告媒体。

【選択図】 図 1



【特許請求の範囲】**【請求項 1】**

空容器体に、広告等表示用フラップ部が当該空容器体から折曲自在に連成されていると共に、当該広告等表示用フラップ部の折曲部の一部に切れ目が形設されていることを特徴とする販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 2】

前記切れ目が、適宜間隔で複数形設されていることを特徴とする請求項 1 記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 3】

前記切れ目部を除き、広告等表示用フラップ部の折曲部に、折曲を容易にする型押し加工が施されていることを特徴とする請求項 1 又は 2 記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 4】

前記空容器体が、広告等表示用フラップ部の折曲時当該フラップ部を挾持固定するための突出片形成用ミシン目を備えていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 5】

前記広告等表示用フラップ部が折曲自在の突出片を備えていると共に、空容器体が広告等表示用フラップ部の折曲時当該突出片を挿通係止せしめる切れ目を備えていることを特徴とする請求項 1 ~ 3 の何れか 1 項記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 6】

前記突出片が広告等表示用フラップ部の長手辺縁部に突設され、かつ切れ目が広告等表示用フラップにより被覆される空容器体面壁の長手辺縁部に形設されていることを特徴とする請求項 5 記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 7】

前記突出片が広告等表示用フラップ部の短手辺縁部に突設され、かつ切れ目が空容器体の蓋部材に形設されていることを特徴とする請求項 5 記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 8】

前記空容器体に収納せしめて振った際に衝突音を発する固体となる収納用突出片が、当該空容器体に分離可能に連成されていることを特徴とする請求項 1 ~ 7 の何れか 1 項記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 9】

前記収納用突出片に、二ツ折りを容易にする型押し加工が施されていることを特徴とする請求項 8 記載の販売促進用陳列広告媒体。

【請求項 10】

前記空容器体が、扁平状に折り畳み可能な紙製又は樹脂製の箱であることを特徴とする請求項 1 ~ 9 の何れか 1 項記載の販売促進用陳列広告媒体。

【発明の詳細な説明】**【技術分野】****【0001】**

本発明は、販売促進用陳列広告媒体、更に詳細には商品を内部に収納することなく、店頭等において各種商品の販売促進のために陳列して使用する広告媒体に関するものである。

【背景技術】**【0002】**

従来、各種商品の小売販売に当たり、当該商品自体の説明表示や当該商品に関する広告表示は、一般に当該商品の包装用箱面に表示することによって行なわれている。

然るところ、医薬品、医薬部外品、化粧品等を初めとして、今日、商品の説明や取り扱いに関して表示すべき事項、あるいは当該商品の広告に関して表示したい事項が増大しており、包装用箱面のみでは表示面積が不足すると云う問題があった。

斯かる問題を解消するものとして、箱自体の構成には関与しない表示専用の表示片を連

10

20

30

40

50

設した表示片付包装用箱が既に報告されている（特許文献 1 参照）。

【 0 0 0 3 】

しかしながら、当該表示片付包装用箱の表示片は、単に折り曲げ可能に連設されていたに過ぎなかったため、一旦包装用箱面と接するように折り曲げられると、所謂折りぐせがついて、伸展時に当該表示片面と当該表示片が連設されている包装用箱面とを同一水平面状態に保持し得ないと云う問題があった。

そのため、包装用箱面と共に表示片面を見る者の正面に位置せしめることができない結果、陳列の際に折角の表示片を有効に利用できず、包装用箱としてはともかく、販売促進用陳列広告媒体としては用をなさないのが実状であった。

【特許文献 1】特開平 9 - 1 0 4 4 3 3 号公報

10

【発明の開示】

【発明が解決しようとする課題】

【 0 0 0 4 】

本発明は上記の如き従来の問題と実状に鑑みてなされたもので、表示片に折曲による折りぐせがついても、伸展時に当該表示片を、当該表示片が連設されている包装用箱面と同一水平面状態となる位置に保持固定することができる販売促進用陳列広告媒体を提供することを課題としている。

【 0 0 0 5 】

本発明者は、当該課題を解決すべく種々検討を重ねた結果、空容器体に広告等表示用フラップ部を折曲自在に設け、かつ当該フラップ部の折曲部の一部に切れ目を設ければ、当該切れ目端部における摩擦係止力を利用して、伸展時に当該フラップ部を、当該フラップ部が設けられている空容器面と同一水平面状態となる位置に保持固定し得ることを見出し、本発明を完成した。

20

【課題を解決するための手段】

【 0 0 0 6 】

すなわち、本発明、空容器体に、広告等表示用フラップ部が当該空容器体から折曲自在に連成されていると共に、当該広告等表示用フラップ部の折曲部の一部に切れ目が形設されていることを特徴とする販売促進用陳列広告媒体により上記課題を解決したものである。

【発明の効果】

30

【 0 0 0 7 】

本発明によれば、広告等表示用フラップ部の折曲部の一部に切れ目が形設されているので、当該フラップ部に折りぐせがついても、当該フラップ部を伸展せしめて切れ目端部同士を合わせれば、当該切れ目端部における摩擦係止力によりその伸展状態、すなわち当該フラップ部面と当該フラップが連成されている空容器面との同一水平面状態が保持固定される。

【 0 0 0 8 】

従って、本発明によれば、表示すべき情報量の増大に対応し得ることはもとより、空容器体面と共に広告等表示用フラップ部面を見る者の正面に位置せしめることができるので、本発明は看者の注意を引くアピール性のある販売促進用陳列広告媒体としての有用性が特に高いものである。

40

【発明を実施するための最良の形態】

【 0 0 0 9 】

以下本発明の実施の形態を図面と共に説明する。

【 0 0 1 0 】

まず、本発明の第 1 の実施の形態を図 1 ～ 図 4 を用いて説明する。

当該図 1 ～ 図 4 において、10 は空容器体で、その材質・形態は特に制限されないが、例えば扁平状に折り畳み可能な紙製や樹脂製の箱とするのが輸送や保管を効率良く行なうことができ、より望ましい。この場合、箱の各折曲部分は折曲を容易にするために施された型押し加工部 10 P を有するのが好ましい。また、その厚さは、後述する切れ目 30 の

50

端部において適度な摩擦係止力を得る上で、0.5～2.0mm程度とするのが望ましい。

【0011】

20は広告等表示用フラップ部で、空容器体10の一面壁10aから当該空容器体10との境界部において折曲自在に突出連成されている。この広告等表示用フラップ部20には、商品の説明や取り扱いに関する事項や商品の広告に関する事項等が適宜表示される。

【0012】

30は切れ目で、空容器体10との境界部における広告等表示用フラップ部20の折曲部40の一部に適宜間隔で複数形設されている。また、当該折曲部40には、切れ目30部を除き、折曲を容易にするために施された型押し加工部40Pを有するものが望ましい。

10

【0013】

この実施の形態によれば、輸送や保管時においては図3に示す如く、広告等表示用フラップ部20を折り曲げて空容器体10の他の一面壁10bに密着せしめることによりコンパクトな状態とすることができる。

他方、店頭等において陳列しようとするときは、図4に示す如く、広告等表示用フラップ部20を伸展せしめ、切れ目30の端部同士を合わせれば、当該切れ目30の端部における摩擦係止力によりその伸展状態、すなわち当該フラップ部20面と当該フラップ部20が連成されている空容器面10aとの同一水平面状態が保持固定される。

【0014】

次に、本発明の第2の実施の形態を図5及び図6を用いて説明する。

20

この実施の形態は図5に示す如く、空容器体10の他の一面壁10bに、広告等表示用フラップ部20の折曲時当該フラップ部20を挟持固定するための突出片形成用ミシン目50が形設されている以外は第1の実施の形態と同様に構成されている。この突出片形成用ミシン目50の具体的形状は、ミシン目の破断により突出片が形成されるものであれば半円状、半矩形状等その如何を問わない。

【0015】

この実施の形態によれば、突出片形成用ミシン目50を破断して突出片50aを形成し、折曲げられた広告等表示用フラップ部20の端部を、当該突出片50aと空容器体の当該面壁10bとの間に挟持すれば、図6に示す如く、当該フラップ部20を空容器体10の他の一面壁10bに密着させた状態で固定保持することができる。

30

【0016】

次に、本発明の第3の実施の形態を図7及び図8を用いて説明する。

この実施の形態は図7に示す如く、広告等表示用フラップ部20の長手辺縁部に、突出片20aが折曲自在に一体的に突設されていると共に、当該フラップ部20の折曲時当該突出片20aを挿通係止せしめる切れ目60aが、当該フラップ部20により被覆される空容器体10の他の一面壁10bの長手辺縁部に形設されている以外は第1の実施の形態と同様に構成されている。

【0017】

この実施の形態によれば、広告等表示用フラップ部20を折曲げつつ、当該突出片20aを切れ目60aに挿通係止すれば、図8に示す如く、当該フラップ部20を空容器体20の他の一面壁10bに密着させた状態で固定保持することができる。

40

【0018】

次に、本発明の第4の実施の形態を図9～図11を用いて説明する。

この実施の形態は図9及び図10に示す如く、広告等表示用フラップ部20の短手辺縁部に、突出片20bが折曲自在に一体的に突設されていると共に、当該フラップ部20の折曲時当該突出片20bを挿通係止せしめる切れ目60bが、空容器体10の蓋部材10cに形設されている以外は第1の実施の形態と同様に構成されている。

【0019】

この実施の形態によれば、広告等表示用フラップ部20を折り曲げつつ、当該突出片20bを切れ目60bに挿通係止すれば、図11に示す如く、当該フラップ部20を空容器

50

体 1 0 の他の一面壁 1 0 b に密着させた状態で固定保持することができる。

【 0 0 2 0 】

更に、本発明の第 5 の実施の形態を図 1 2 及び図 1 3 を用いて説明する。

この実施の形態は図 1 2 に示す如く、空容器体 1 0 に、当該空容器体 1 0 に収納せしめて振った際に衝突音を発する固体となる収納用突出片 7 0 がミシン目 7 1 等により分離可能に連成されている以外は第 4 の実施の形態と同様に構成されている。

【 0 0 2 1 】

この収納用突出片 7 0 の大きさは、空容器体 1 0 に収納可能なものであれば特に限定されないが、紙等の空容器体 1 0 の材料の無駄がなく、かつまた効果的な衝突音を得る上で、空容器体 1 0 の最大面壁との相対的な面積比で 0 . 1 ~ 0 . 9 、特に 0 . 2 ~ 0 . 8 と

10

【 0 0 2 2 】

また、この収納用突出片 7 0 は、分離後フラットな状態のまま空容器体 1 0 に収納しても良いが、図 1 3 に示すように、立体物として収納した方がより動きやすく、効果的に衝突音が発せられるので、二ツ折りを容易にするために、その中央部に型押し加工、ミシン目、ハーフカット等による折れ目線 7 0 a を設けるのが望ましい。尚、二ツ折りにする場合、二ツ折り後の突出片 7 0 の最大寸法部が空容器体の最小内寸法部の 1 0 ~ 9 0 % 、特に 2 0 ~ 8 0 % となるようにするのが、より効果的に衝突音を発生する上で望ましい。

【 0 0 2 3 】

この実施の形態によれば、空容器体であるにも拘らず、手に持った際に衝突音がするので、空箱特有の空虚感を消費者に与えることはなく、しかも各種商品に関する説明や広告をより詳細に表示し得るので、消費者に当該商品の内容が伝わり、製品に対する期待・信頼が損なわれることがない結果、商品の売上げ向上に大きく寄与することができる。また内部に商品が存在していない空容器であるため、万引被害が生じることもない。

20

【 0 0 2 4 】

尚、第 5 の実施の形態は、収納用突出片 7 0 を第 4 の実施の形態の空容器体 1 0 に連成した例であるが、これに限らず当該収納用突出片 7 0 は第 1 ~ 第 3 の実施の形態の空容器体 1 0 に連成しても良い。

【 図面の簡単な説明 】

【 0 0 2 5 】

30

【 図 1 】 本発明の第 1 の実施の形態を示す概略平面説明図。

【 図 2 】 本発明の第 1 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 3 】 広告等表示用フラップ部を折曲した本発明の第 1 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 4 】 広告等表示用フラップ部を伸展した本発明の第 1 の実施の形態を示す概略断面説明図。

【 図 5 】 本発明の第 2 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 6 】 広告等表示用フラップ部を折曲した本発明の第 2 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 7 】 本発明の第 3 の実施の形態を示す概略背面説明図。

40

【 図 8 】 広告等表示用フラップ部を折曲した本発明の第 3 の実施の形態を示す概略断面説明図。

【 図 9 】 本発明の第 4 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 1 0 】 立体化した本発明の第 4 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 1 1 】 広告等表示用フラップ部を折曲した本発明の第 4 の実施の形態を示す概略断面説明図。

【 図 1 2 】 本発明の第 5 の実施の形態を示す概略背面説明図。

【 図 1 3 】 組み立て使用時の本発明の第 5 の実施の形態を示す概略断面説明図。

【 符号の説明 】

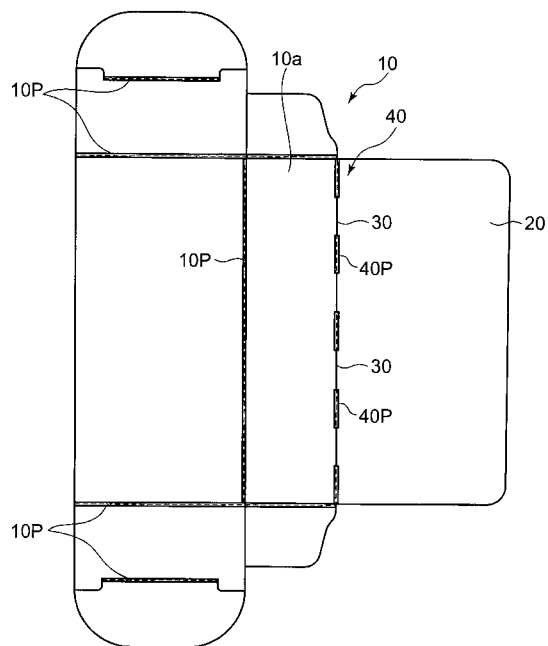
【 0 0 2 6 】

50

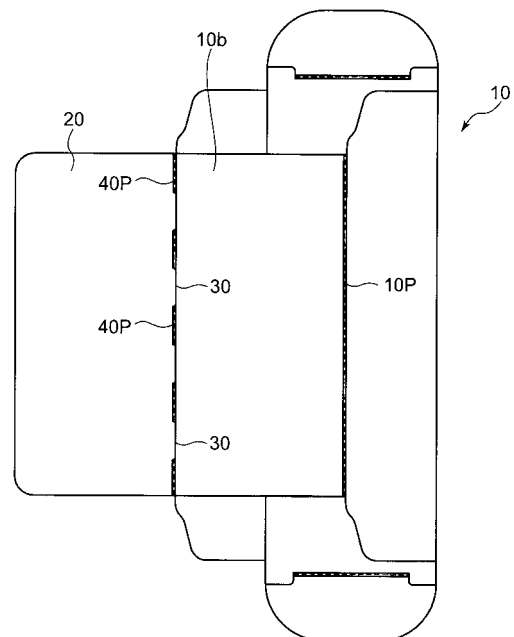
- 10 : 空容器体
- 10a : 一面壁
- 10b : 他の一面壁
- 10c : 蓋部材
- 10P : 型押し加工部
- 20 : 広告等表示用フラップ部
- 20a : 突出片
- 20b : 突出片
- 30 : 切れ目
- 40 : 折曲部
- 40P : 型押し加工部
- 50 : ミシン目
- 50a : 突出片
- 60a : 切れ目
- 60b : 切れ目
- 70 : 収納用突出片
- 70a : 折れ目線
- 71 : ミシン目

10

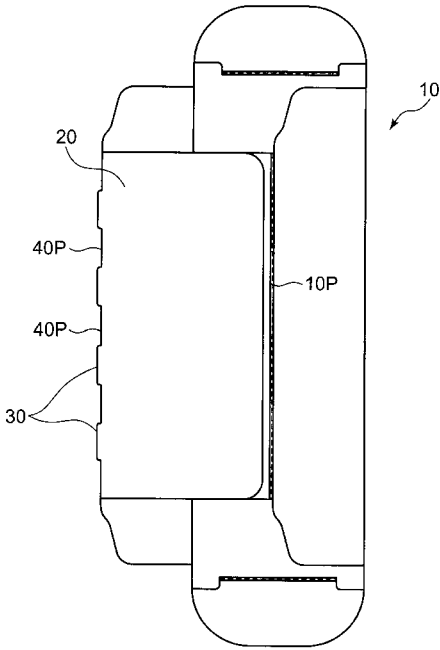
【図1】



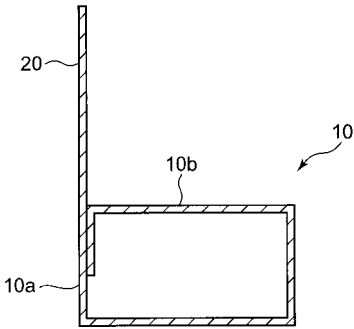
【図2】



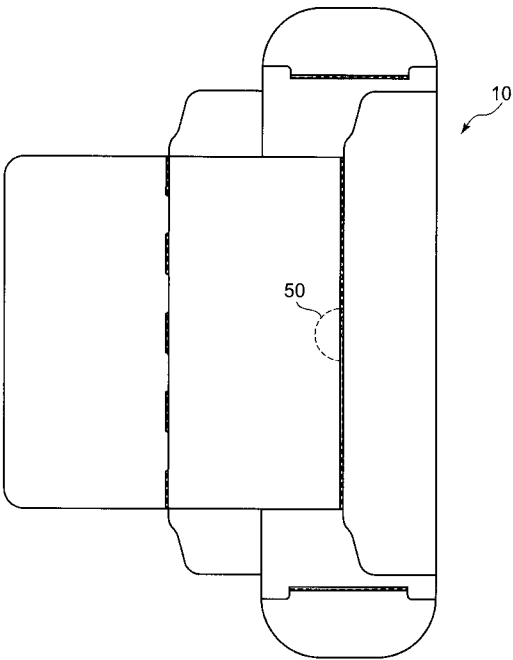
【 図 3 】



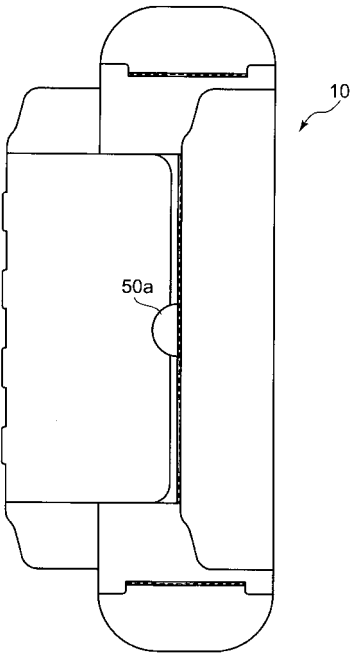
【 図 4 】



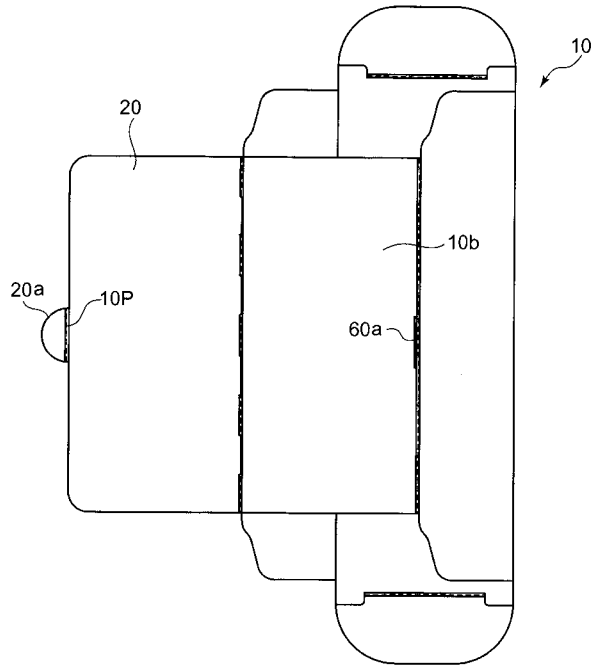
【 図 5 】



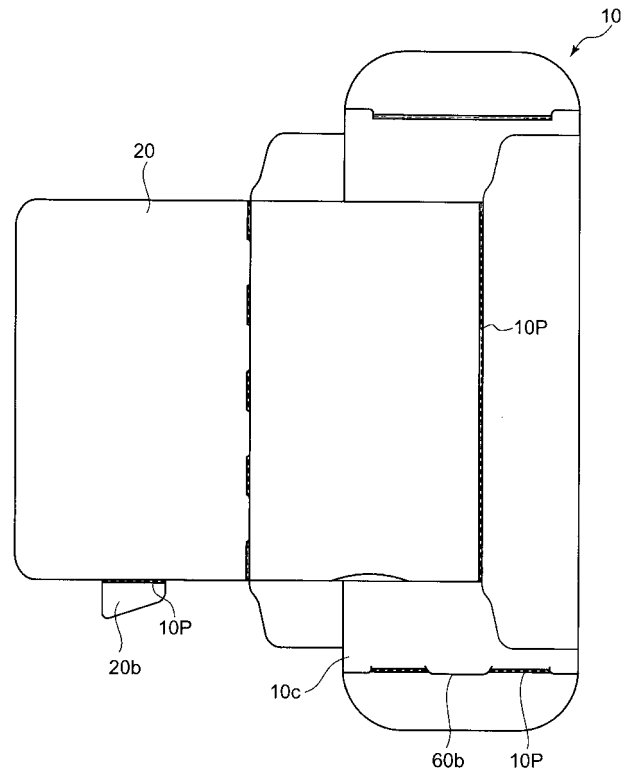
【 図 6 】



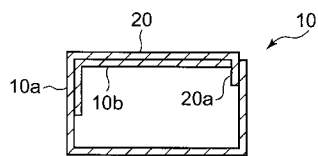
【図 7】



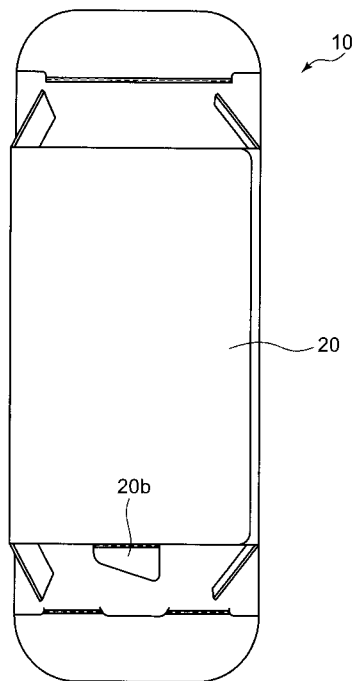
【図 9】



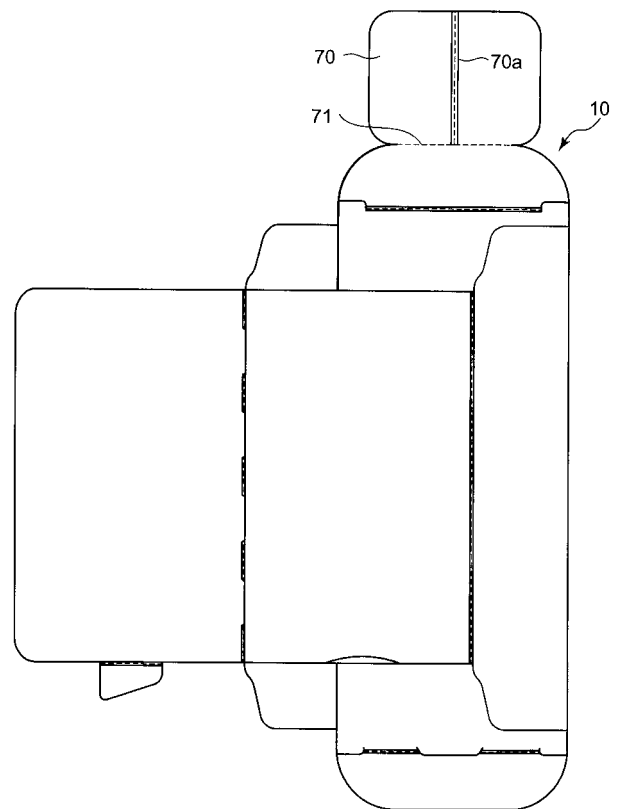
【図 8】



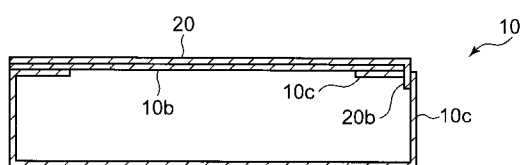
【図 10】



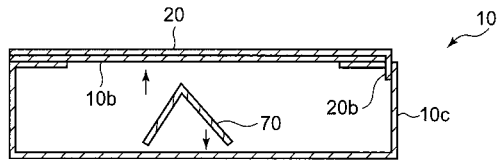
【図 12】



【図 11】



【図 13】



フロントページの続き

(72)発明者 香川 和彦

東京都中央区日本橋小網町 1 - 8 第一三共ヘルスケア株式会社内

Fターム(参考) 3E060 AA03 AB05 BA03 CB02 CB19 CE13 CE14 CE18 CE19 DA04
EA06 EA20